

2020年度業務実績報告書

提出日 令和3年2月5日

1. 職名・氏名 教授・法木 左近

2. 学位 医学博士（甲）、専門分野 病理学、授与機関 福井医科大学、授与年 1990年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 医学概論（2単位） 1年
②内容・ねらい	内容：社会福祉士として必要な人体の構造と機能および疾病について、医学の学問体系に沿って解説した。具体的には、骨学、筋肉学、組織学、解剖学、そして病理学として炎症、循環障害、腫瘍などを分かりやすく説明した。 ねらい：社会福祉士国家試験に回答できるようになること、クライアントの病気について医学書やネットで調べたときに記載内容が理解できること、そして、社会人の医学リテラシーとしての医学知識を得ること、である。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	百聞は一見に如かずのとおり、視覚教材を多く取り入れた。身近な話題や映画・文学などと関連づけて説明した。また、集中力の途切れるころには、私の海外留学や海外出張（イタリアなど）の画像などを挟むことによって興味を持続させた。
①担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 生涯発達学（2単位） 2年
②内容・ねらい	内容：生涯にわたる各ライフステージでの疾患のみならず、小児期では生理的発達について解説した。具体的には、先天異常と染色体異常・遺伝病、小児の発達、生活習慣病（糖尿病・悪性腫瘍）、脳卒中、認知症、神経変性疾患、老年医学、障害（生活機能分類）などを分かりやすく説明した。 ねらい：社会福祉士国家試験に回答できるようになること、クライアントの病気について医学書やネットで調べたときに記載内容が理解できること、そして、社会人の医学リテラシーとしての医学知識を得ること、である。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	百聞は一見に如かずのとおり、視覚教材を多く取り入れた。身近な話題や映画・文学などと関連づけて説明した。また、集中力の途切れるころには、私の海外留学や海外出張（イタリアなど）の画像などを挟むことによって興味を持続させた。
①担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 病態生理学（2単位） 2年（看護学科）
②内容・ねらい	内容：先天異常、遺伝疾患、染色体異常、多因子遺伝、壊死、変性、萎縮、蛋白質代謝障害（ネフローゼ症候群、尿毒症）、糖尿病、黄疸、循環障害および充血、うっ血、虚血、血栓、塞栓、梗塞、DICなどの用語の理解、炎症論、免疫とは、感染症、腫瘍総論など ねらい：看護師国家試験に回答できるようになること、病院内での患者に関する情報交換の内容が理解できるよう医学用語を正しく理解すること、患者の病気について医学書やネットで調べたときに記載内容が理解できること、そして、社会人の医学リテラシーとしての医学知識を得ること、である。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

百聞は一見に如かずのとおり、視覚教材を多く取り入れた。2020年度はコロナのため顕微鏡実習ができなかったが、例年、1, 2回の顕微鏡実習を取り入れ、炎症細胞や腫瘍細胞を観察する。講義では、集中力の途切れるころには、私の海外留学や海外出張（イタリアなど）の画像などを挟むことによって興味を持続させた。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等

保健・福祉研究方法論（2単位） 大学院1年

②内容・ねらい

内容： 研究の意義となりたち、研究における概念、変数について、実験的研究と非実験的研究、量的研究と質的研究、文献の検索とクリティーク、統計的な方法など

ねらい： 研究をしていくうえでの基本的な用語や概念などの習得と、自身の研究へ活かせるようになること。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

自分自身の研究についても説明し、研究の具体的な像を示した。学生の人数も少ないので、気楽に質問ができるように質問タイムを多く設けた。学生の研究目的になるべくあった内容を心掛けた。

(2)その他の教育活動

内容

1. 福井大学医学部附属病院にて、隔週火曜日、研修医（病理学専攻医）に対して、附属病院内の病理標本の診断内容についてチェックを行い指導した。

2. 福井大学医学部の大学院生の学位論文について、論文の書き方や内容について指導し、博士論文「Signal changes on Postmortem-magnetic-resonance-imaging (PM-MRI) in formalin fixed human normal heart tissue. (ホルマリン固定ヒト正常心臓の死後 MRI における T1 値、T2 値の変化)」の作成を指導した。

3. 福井勝山総合病院 院内 CPC（臨床病理検討会）に講師として病理解剖症例の病理所見について講演し、質疑応答に応えた。2020年10月12日

4. 社会福祉学科の大学院生のサポート教員として、サポートした。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【0 本】
②学術論文（査読あり）	
1. Quantitative Analysis of the Far-Lateral, Supra-Articular Transcondylar Transtubercular Approach Using Cadaveric Computed Tomography and Magnetic Resonance Imaging Kodera T, Akazawa A, Yamada S, Arai H, Yamauchi T, Higashino Y, Arishima H, Iino S, <u>Noriki S</u> , Kikuta K. <i>Operative Neurosurgery</i> 2020 ;19;E498– E509. DOI: 10.1093/ons/opaa035	
2. Capillary hemangioma arising from the lesser omentum in an adult: A case report. Nagano H, Goi T, Taguchi S, Tsubaki T, Tsuchiyama T, Uematsu H, Noriki S . <i>Medicine (Baltimore)</i> . 2020 ;99(4);e18693. doi: 10.1097/MD.00000000000018693.	
3. An autopsy case of tuberculous meningitis undiagnosed by nested-PCR of CSF samples and brain biopsy. Kitazaki Y., Ikawa M., Enomoto S., Shrafuji N., Hayashi K., Yamamura O., Yamasa S., Arishima H., <u>Noriki S</u> ., Nakamoto Y., Hamano T. <i>Journal of the Neurological Sciences</i> 2020 ;15;116968	
4. 混合リンパ節転移を伴った混合性髄様濾胞細胞癌の1例 大澤陽子、八田聡美、大越忠和、加藤永一、坪川亜優美、堤内俊喜、森川太洋、 <u>法木左近</u> 、今村好章 <i>頭頸部外科</i> 2020 ;30 (2);239-245.	
5. Segmental arterial mediolysis による右胃大網動脈瘤破裂の1例 大槻忠良、小林泰三、廣野靖夫、五井孝憲、 <u>法木左近</u> <i>臨床外科</i> 2020 ;75;885-889 （医学書院）	
6. 抗 HMGCR 抗体陽性壊死性ミオパチーのステロイド治療中に発熱、CK 上昇を認めた一部検例 上野亜佐子、金原秀雄、遠藤芳徳、井川正道、朴木博幸、木下圭一、 <u>法木左近</u> 、三原弘、山内貴弘、濱野忠則 <i>日内会誌</i> 2020 ;109;1614-1624.	
【6 本】	
③その他論文（査読なし）	
7. 爪白癬検体の KOH 処理の工夫：チューブ法について 石田久弥、 <u>法木左近</u>	

Visual Dermatology. 2020;19;48-51. (株式会社学研メディカル秀潤社)

8. Ai から AI への展望 ―剖検摘出立体固定肺の Ai(Ai-organ)を活用した医用画像研究―
稲井邦博、八田聡美、法木左近、清水昭伸、木戸尚治

Rad Fan. 2020;18;36-40. (メディカルアイ)

9. Autopsy imaging: 死亡時画像診断の実際とその果たす役割

法木左近

死の臨床 2020;vol.43, No.1;10-11. (日本死の臨床研究会; JJRD)

【3 本】

④学会発表等

1. 日本医学放射線学会 第 167 回中部地方会 2020 年 2 月 15 日 16 日 愛知県がんセンター
悪性腫瘍と鑑別を要した左転子部 ischemic fasciitis の 1 例
若林 佑、高橋美紗、都司和伸、松井 謙、高橋孝博、左合 直、法木左近、北折俊之
(福井赤十字病院)

2. 日本乳癌学会総会 第 28 回 web 開催 2020 年 10 月 9 日～31 日
乳癌原発巣の ER 発現と 18F-FES 集積値との相関関係は腫瘍細胞成分割合による補正により
改善する
高橋 瑞穂(福井大学 医学部第一外科)、前田 浩幸、辻川 哲也、法木 左近、矢尾 祥子、河野
紘子、横井 繁周、今村 好章、岡沢 秀彦、五井 孝憲

3. 日本医用画像工学会大会予稿集 39 回 Page117-123(2020.09)
V-Net を用いた Ai-CT に対する肝臓領域抽出手法の開発と肝臓の質量推定への応用
櫛部 光哉(山口大学 大学院創成科学研究科電気電子情報系専攻)、平野 靖、木戸 尚治、木下
一之、稲井 邦博、法木 左近

4. 日本病理学会会誌(0300-9181)109 巻 1 号 Page331(2020.03)
剖検摘出立体固定肺を活用した医用画像研究支援
八田 聡美(福井大学 医・分子病理)、稲井 邦博、清水 昭伸、木戸 尚治、佐藤 嘉伸、伊藤 春海、
樋口 翔平、法木 左近、今村 好章、内木 宏延

【4 件】

⑤その他の公表実績

【0 本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

1. 中谷医工計測技術財団 調査研究費「ホルマリン固定臓器を MRI 撮影することの有用性の
調査研究」 292 万円 (令和 2 年度～令和 3 年度)
2. 科学研究費 基盤研究 (B)「低侵襲ロボット支援解剖と人工知能 (AI) を活用した医療関
連死解析法構築」 分担研究者 20 万円 (令和 2 年度)

(3)特許等取得

(4)学会活動等

- | |
|---|
| 1. Ai（オートプシーイメージング）学会 理事
2. 日本病理学会 学術評議員 |
| |

5. 地域・社会貢献活動

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
1. 動物実験委員会 委員（令和2年4月から） 2. 衛生委員会 委員（令和2年4月から） 3. 発明委員会 委員（令和2年4月から） 4. 保健管理センター運営会議 委員（令和2年4月から） 5. 推薦入試 救護医（2020年11月21日）
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など